

（1）研究業績

2. 論文

- ・「海外の日本語講師と学習者の活動に関する一考察—北欧フィンランドの事例から」小川蒼子美『日本語教育連絡会議論文集』31, pp.93-101, 2018
- ・A Korean who taught Japanese in 1930s Vienna:Do Cyong-ho (ToYu-ho) based on Finnish and Japanese sources,Yoshimi Ogawa, Chikako Shigemori Bucar,Koreans in Central Europe To Yu-ho,Han Hung-su,and Others pp.33-44,2018
- ・「日本語を教える意味を戦前・戦中の在欧日本人講師の声にたどる」小川蒼子美『ヨーロッパ日本語教育』22, 2018
- ・「日本語教育のルーツをたどる —ウェブサイトで学ぶ日本語教育史—」小川蒼子美『日本語教育連絡会議論文集』30, pp.27-36, 2018
- ・「日本語教育史の意義と可能性：授業実践と研究リソースの構築を踏まえて」小川蒼子美『外语专业建设与人文精神培养 2』大连理工大学出版社, pp.1-10, 2017
- ・「新聞が報じた日本語教育—日露戦争前後の極東ロシア—」小川蒼子美『ことばと文字』第2号, 日本のローマ字社編, くろしお出版, pp.27-33, 2014
- ・「ラムステッドと日本語学者たち—フィンランド側の資料をもとに—」小川蒼子美『ユーラシア都市文化叢書 2 沿バルト海の都市—ヘルシンキ, サンクト・ペテルブルグ, ベルリン—』pp.3-14, 2014
- ・「漢字知識の活かし方—草創期来日外国人の漢字使用—」小川蒼子美『総合学術学会誌』第13号, 日本総合学術学会, pp. 3-9, 2014

3. 科研費実績

- ・基盤研究（C）平成24年度～平成26年度, 課題番号 24520572【研究代表者】
研究課題名：日本語教育史のコンテンツの再構成と資料公開に関する基礎的研究
- ・基盤研究（C）平成28年度～平成30年度, 課題番号 16K02806【研究代表者】
研究課題名：現代日本語教育史研究のための情報リソースの構築—グローバルな視座の育成にむけて

4. 口頭発表・招待講演

(海外)

- ・「在欧日本語講師の一側面帰国後の活動に注目して」第31回日本語教育連絡会議（クロアチア ユライ・ドブリラ大学）2018年9月
- ・「日本語教育学研究の最前線」華東師範大学語言学院講演会 2018年3月
- ・「日本語を教える意味を戦前の在欧日本人講師の声にたどる」第21回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム（ポルトガル 新リスボン大学）ヨーロッパ日本語教師会・ヨーロッパ日本研究者会議（共催）2017年9月
- ・「日本語教育のルーツをたどるウェブサイトで学ぶ日本語教育史」第30回日本語教育連絡会議（ドイツ オルデンプルグフォルクスシューレ）2017年8月
- ・「日本語教育における待遇表現の扱いについて」ダナン大学日本学科セミナー

2017年5月

- ・Research Sources on Language Teaching and Politics: Japanese language education in Pre-war Europe, Research and Study Possibilities in and on Japan, University of Helsinki, Finland, 2015 (JSPS Stockholm)

※JSPS Stockholm Newsletter に掲載(英文・和文)

<http://www.jsps-sto.com/admin/UploadFile.aspx?path=/UserUploadFiles/NLEnglish/EnglishNL20-1.pdf>

[http://www.jsps-sto.com/admin/UploadFile.aspx?path=/UserUploadFiles/NLJapanese/\[final\]JapaneseNL46-150804.pdf](http://www.jsps-sto.com/admin/UploadFile.aspx?path=/UserUploadFiles/NLJapanese/[final]JapaneseNL46-150804.pdf)

- ・「西洋人の日本語研究と中国」, 大連理工大学日本語学科セミナー, 2014

(国内)

- ・「これからの短期留学プログラムの形 —アンケートの結果から見えてきた課題と展望— 金蘭美・小川蒼子美・半沢千絵美, 第50回日本語教育方法研究会, 2018年3月
- ・「日本の技術書第一号を手掛けた訳者たち」日本総合学会 2016 秋季大会, 東京工業大学 CIC キャンパスイノベーションセンター, 2016
- ・「日本語教育史の授業実践と可能性」日本総合学会 2015 秋季大会, 東京工業大学 CIC キャンパスイノベーションセンター, 2015
- ・「ロシア・イギリスの対日政策と日本語教育—20世紀初頭の報道記事から」日本総合学会 2014 秋季大会, 東京工業大学 CIC キャンパスイノベーションセンター, 2014
- ・「日本語研究と実用日本語講座 —19世紀の欧州の事例から—」日本総合学会 2013 秋季大会, 東京工業大学 CIC キャンパスイノベーションセンター, 2013
- ・「ラムステッドと研究交流—泉井久之助らを中心に—」村山七郎記念日本語研究会, 長岡京市中央生涯学習センター, 2013

5. 教科書作成

- ・『新界標日本語 第一冊』復旦大学出版社, 華東師範大学, 2013 (共)
- ・『新界標日本語 第二冊』復旦大学出版社, 華東師範大学, 2014 (共)

(2) 社会活動

招待講演 (2017年度)

- ・「北欧文化協会創設者桑木務と戦前ヨーロッパの日本語・日本文化講座」北欧文化協会月例会, 2017年11月
- ・「日本語教育の世界 言語と異文化に関心のある高校生のみなさんへ」県立岐阜商業高等学校講演会 2017年7月

委員

- ・日本ウラル学会理事 2010年6月～現在に至る

- 日本語教育史研究会副会長 2013年～現在に至る
- 日本総合学会学会誌編集委員長 2015年～現在に至る

(3) 学内活動

- 「外国人の日本語研究」平成29年度神奈川県立光陵高等学校生に対する模擬授業 2017年12月
- 「日本語教育と国際交流・留学生との対話を通じて」平成29年度公開講座（国際戦略推進機構日本語教育部主催）2017年5月、2018年2月